

関係人口（特に若い女性）を 作るにはどうしたらいいの？

1度町を訪れた方が、その後継続的に町に関わるきっかけを創出することが課題です。

※第2次小鹿野町総合振興計画 1-4 交流活動の推進より抜粋

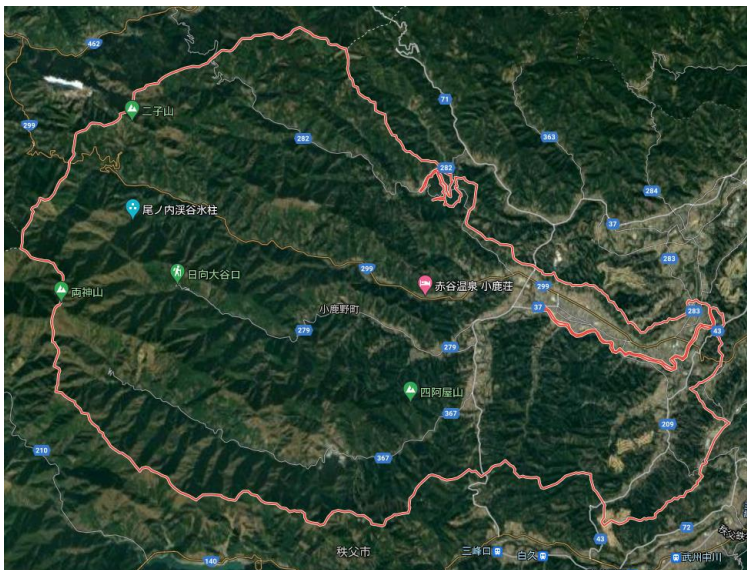
埼玉県小鹿野町まちづくり推進室 南 義泰

小鹿野町ってどこにあるの？

小鹿野町は埼玉県の秩父地域にあります。



小鹿野町は山に囲まれています



小鹿野町の統計情報 (令和3年1月1日時点)

- 1 人口：11,214人
- 2 高齢化率：37.1%
(日本の高齢化率は28.7%)
- 3 標高 248.1m

本題

関係人口（特に若い女性）を 作るにはどうしたらいいの？

1度町を訪れた方が、その後継続的に町に関わるきっかけを創出することが課題です。

※第2次小鹿野町総合振興計画 1-4 交流活動の推進より抜粋

なぜ、若い女性の関係人口？

狙いは2つ

- 1 関係人口から移住・定住
- 2 観光に繋げる

なぜ、若い女性の関係人口？

狙いは2つ

1 関係人口から移住・定住

2 観光に繋げる

なぜ、若い女性の関係人口に焦点を当ててるのか？



関係人口から移住・定住

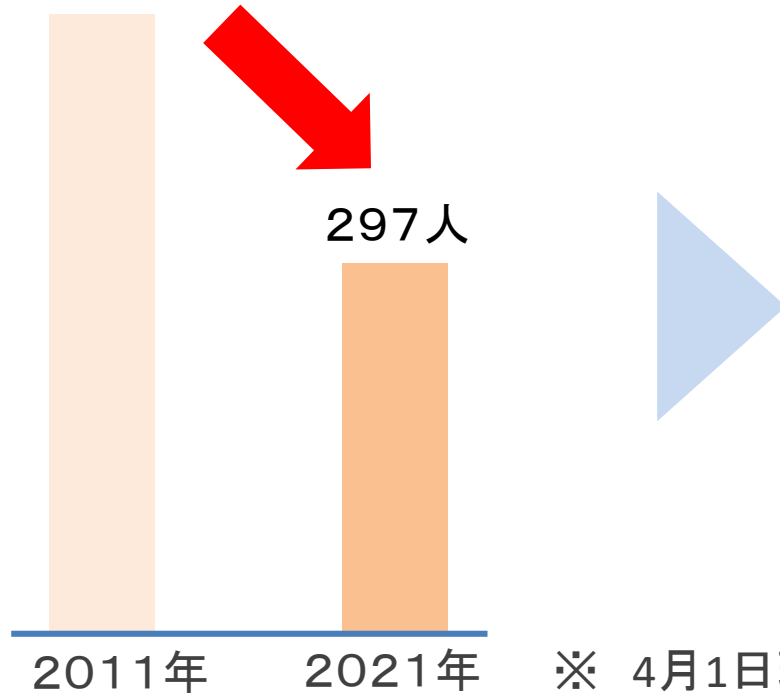


出生数の低下を抑えるきっかけにしたい

若い女性の流出が止まらない

20代の小鹿野町の女性人口

414人



11年で

20代の女性が

約**30%**減少

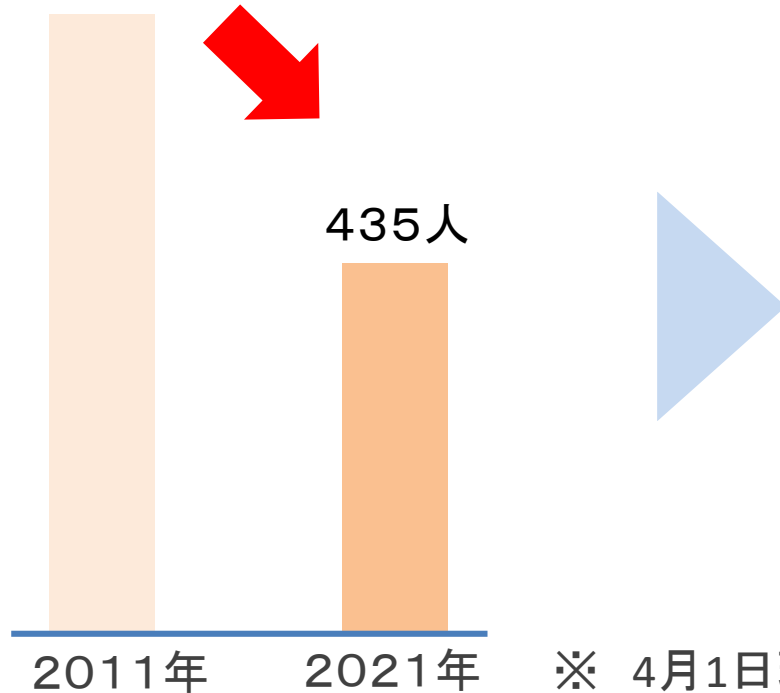
※20代男性は10年で18%減少

※ 4月1日現在 住民生活課 資料より

若い女性の流出が止まらない

30代の小鹿野町の女性人口

577人



10年で

30代の女性は

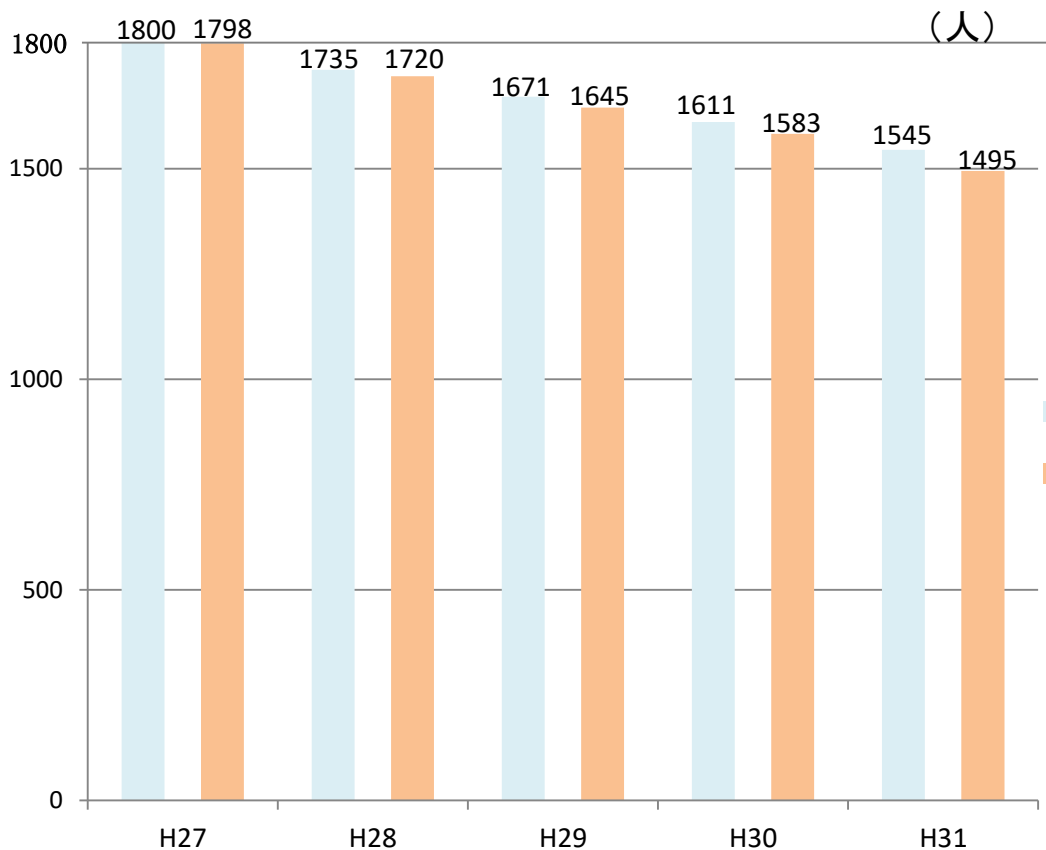
約**25%**減少

※30代男性は10年で**29%**減少

※ 4月1日現在 住民生活課 資料より

児童数は町の推計より早く減少

H27.3策定 小鹿野町子ども・子育て支援事業計画 児童数(0～17歳人口)の推計値と実績値の比較



推計値 小鹿野町子ども・子育て支援事業計画より
実績値 住民生活課資料より

町の推計より

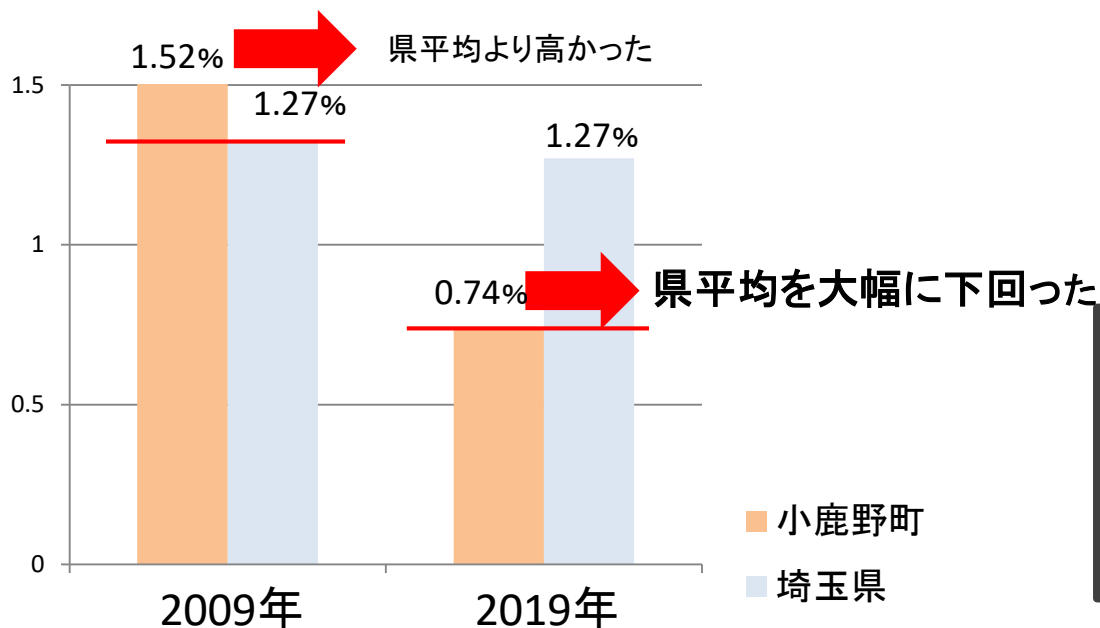
約**3**%早く

児童数は減少している

移住対策も実施中だが、合計特殊出生率は減少する一方

埼玉県と小鹿野町の合計特殊出生率の比較

埼玉県統計資料より



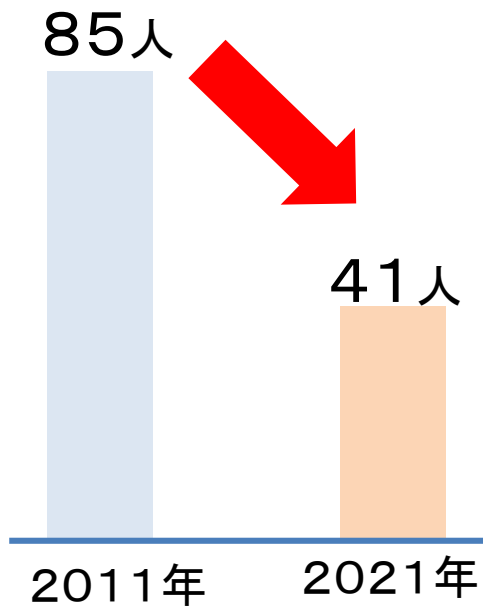
10年で県平均を大幅にした回る

10年で**5割強も低下**

移住対策も実施中だが、出生数も大幅に減少

小鹿野町の出生数の推移

住民生活課資料より



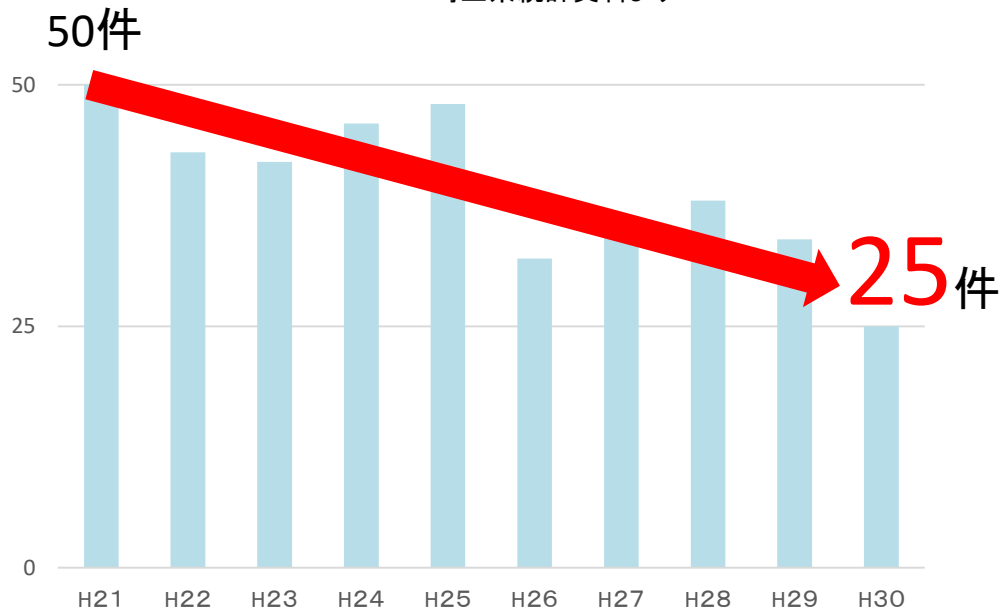
出生数は10年で

52%も減少！！

移住対策も実施中だが、出生数も大幅に減少

小鹿野町の婚姻件数の推移

埼玉県統計資料より



10年で

町内在住者の婚姻件数が

半減！！


実施中の移住・定住関連事業の一例

実施中の移住支援の一部

- 1 移住相談窓口の設置
- 2 お試し移住住宅の設置
- 3 移住相談員を配置 etc

実施中の定住支援の一部

- 1 母子保健サービス
- 2 子育て支援センター
- 3 放課後学童クラブ etc



移住・定住支援を行っているが…

現状は若い女性の転出超過に歯止めがかからず、
町の推計より早く児童数が減少している

外からの来る人の状況は？

なぜ、若い女性の関係人口？

狙いは2つ

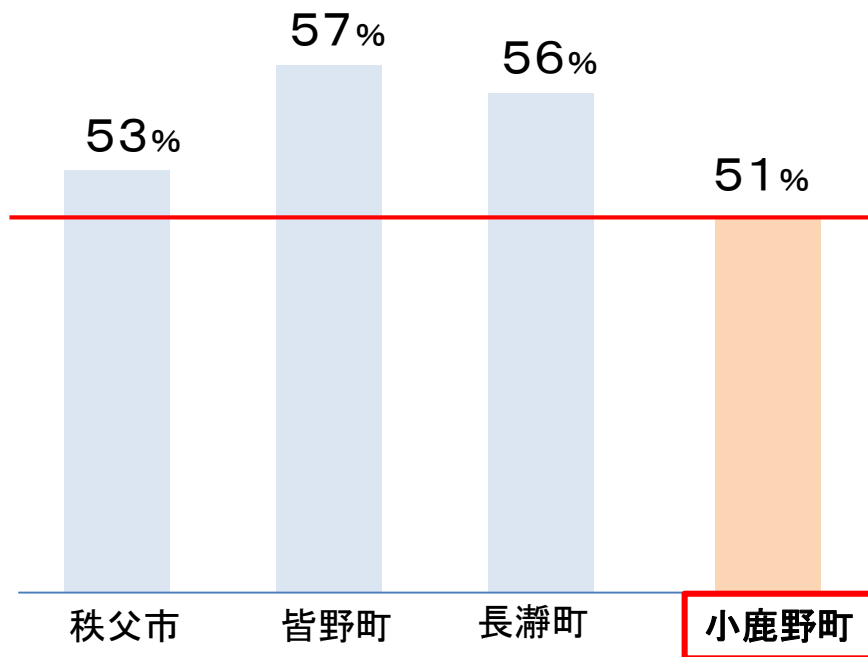
1 関係人口から移住・定住

2 観光に繋げる

小鹿野町の観光は男性がやや多い

2019年 男女別宿泊者数の内 女性の割合

地域経済分析システムより



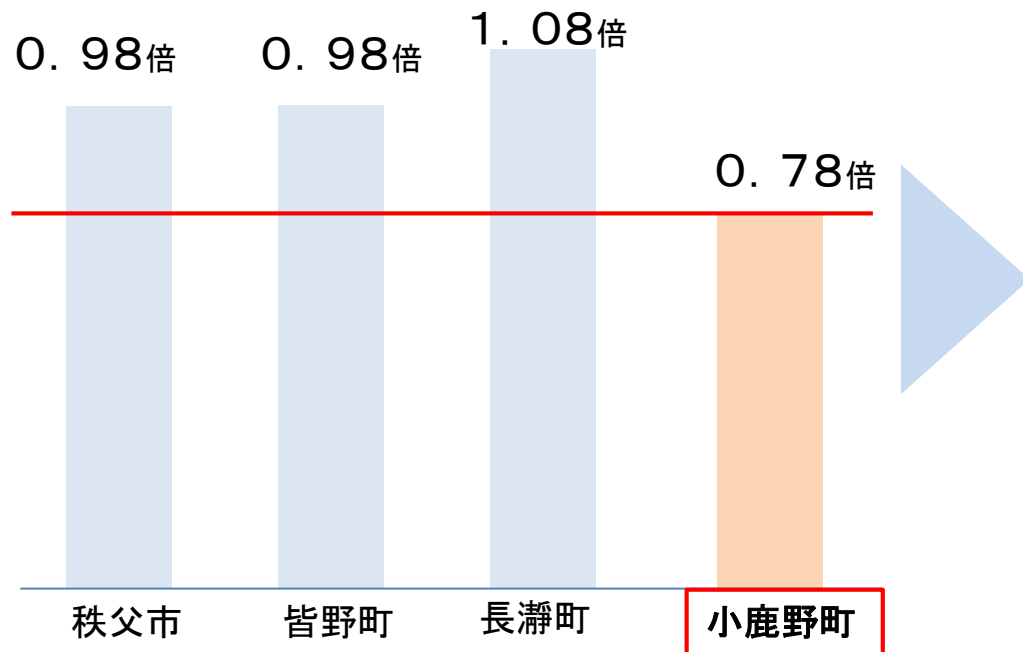
秩父地域にある他地域に比べて
女性観光客の割合が低い

※秩父地域にある横瀬町はデータなし

小鹿野在住の女性は外に遊びに行く

小鹿野町20代男女別滞在人口率 2020年4月(休日)

地域経済分析システムより



若い女性が外から小鹿野町に来ない
さらに休日小鹿野町から出て行く

ここまでのまとめ

- 1 児童数は町の推計より早く減少している
- 2 観光は他地域に比べ男性が多い
- 3 休日、町内在住の若い女性は町外に出て行く

これらの対応策は？

- 1 児童数は町の推計より早く減少している
- 2 観光は他地域に比べ男性が多い
- 3 休日、町内在住の若い女性は町外に出て行く



関係人口の構築

Uターンの促進

子育て環境の充実

第2次小鹿野町総合振興計画より抜粋

今回の課題は関係人口の構築

- 1 児童数は町の推計より早く減少している
- 2 観光は他地域に比べ男性が多い
- 3 休日、町内在住の若い女性は町外に出て行く



関係人口の構築

Uターンの促進

子育て環境の充実

第2次小鹿野町総合振興計画より抜粋

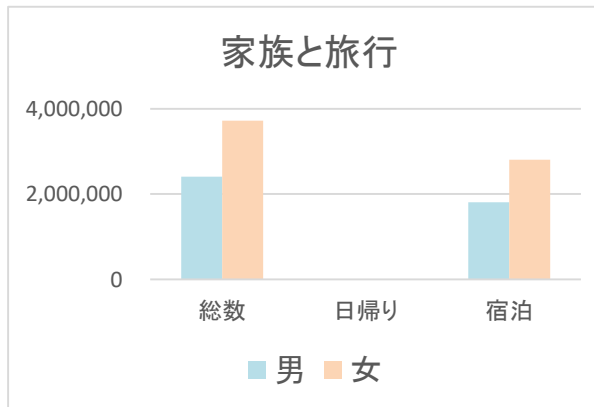
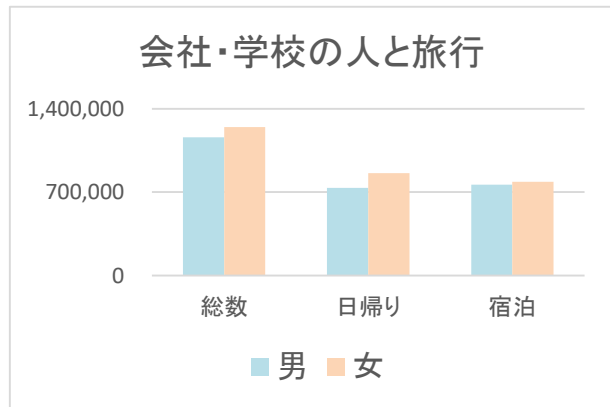
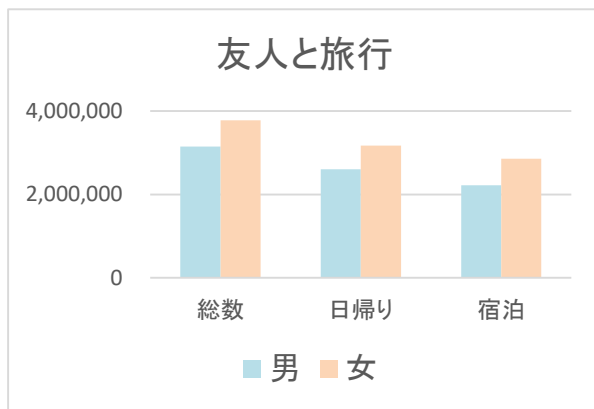
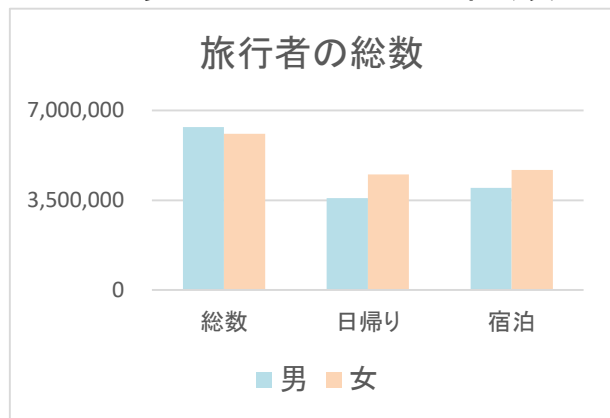


今回の課題

特に若い女性の関係人口構築

なぜ若い女性の関係人口①？

20代男女別 行楽の種類別行動者数 2016年 総務省統計局「社会生活基本調査」より

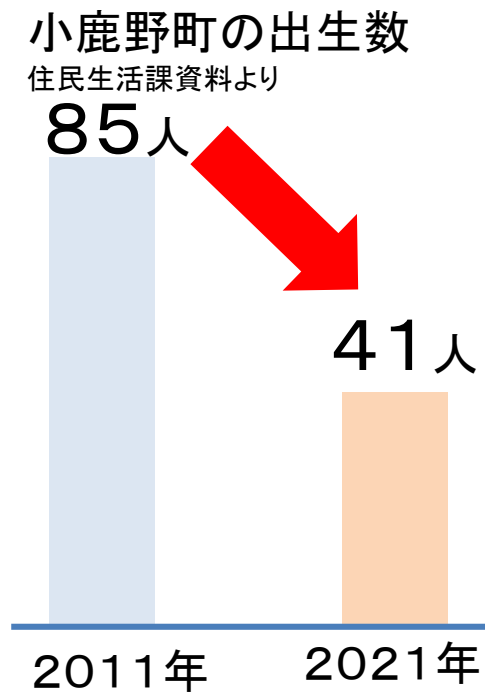


女性の方が
複数人で観光に行く

女性の関係人口を
増やせば、町への
観光客が増える

移住の可能性が
増加する？

なぜ若い女性の関係人口②？



喫緊の課題である出生数の減少を抑えるには、
まずは若い女性に小鹿野町を認知してもらい、
移住・定住の前に
関係人口となってもらう
必要がある

町の関係人口関連施策について

交流活動の推進

※小鹿野町総合振興計画 1-4より



おがのファンの創出(関係人口)

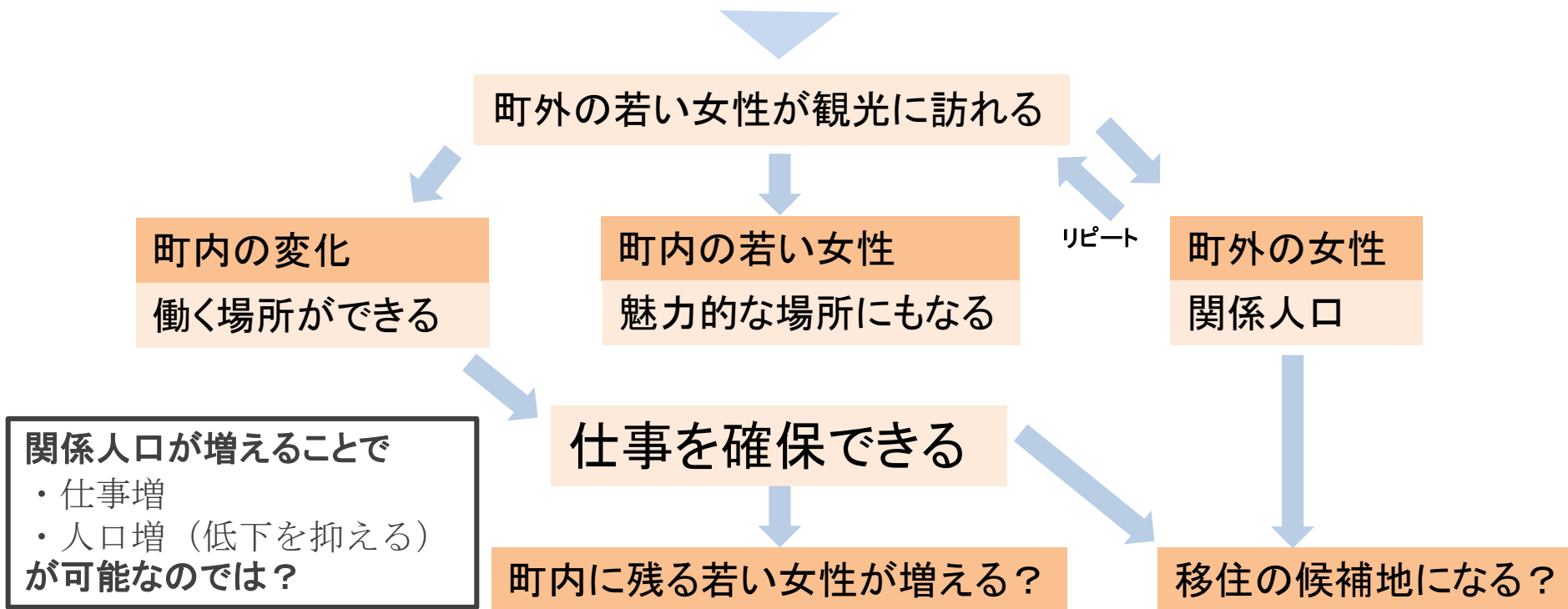
※上記交流活動の推進の柱の1つ



どうすれば小鹿野町の関係人口として継続的に関わってもらえるの？

私が想像する課題解決のイメージ

外の若い女性にとって魅力的な場所を掘り起こす



そもそもの疑問点（助言をいただきたい点）

- 1 関係人口を作るきっかけはどうしたらよいか？
- 2 関係人口関連のイベントを単発で終わらせず、町で自走するにはどうしたらいいの？
- 3 他地域との差別要素はどのように見つけ、どう作っていけばいいの？
- 4 若い女性に訴求する要素をどのように作っていけばよいか？
- 5 そもそも私の課題解決イメージは的を射ているのか？

以上です。

ご意見よろしく申し上げます。